

岩本久実子氏

一般社団法人 日本子育て支援協会
講師



子連れでお出かけするパパママはいつも大きなカバンに荷物がパンパン。

さて、おでかけ先で子どもへ必要になるものは何かをご存知でしょうか？

パパママへ結婚式場があったら嬉しいサービス調査を行ったところ、図のような様々なリクエストが寄せられました。

(ミキハウス子育て総研(株)「子連れでの結婚式参列に関するアンケート」より)

パーセンテージの大小に関わらず、子どもの年齢によって必要なものは変わりますので、どれも式場にあると嬉しいグッズやサービスです。

実際にミキハウス子育て総研が認定する「ウェルカムベビーの結婚式場」認定項目の中にも、パパママからのリク

本物の“子連れウェルカム”になるために

エストが取り入れられています。

さて、このリクエストの声にいかにか“誠意をもって応える”のが本物の子連れウェルカムとなります。

この“誠意をもって応える”という意味は、この場合、あったら嬉しいものがあるだけではなく、『ここまで配慮があるとは！』という感動の域までレベルを持っていくことを指します。

では、レベルを上げるポイントを2つご紹介しましょう。

①おむつ替えコーナーでの配慮

『サイズバリエーションのある紙おむつやおしりふきの準備を』

乳幼児連れのパパママにとって長時間のお出かけの場合、おむつ替えに必要な荷物をどれだけ減らせるかでお出かけの負担が変わります。その際に施設側によりのブランドのどんなサイズの紙おむつが準備されているのか案内があ

れば大助かりです。さらにそこでおしりふきやおむつを処分する際に個別密封できるビニール袋まで配備されていると、式場の配慮に感動し、その感動は主催者である新郎新婦への感謝に、そして自身のママ友たちへ『こんな施設があった！』と、口コミとしても伝わり好循環を生み出します。

この場合、館内で準備対応しているだけではなく、HP上などで情報公開ができ、認知がいかにかされているかもポイントです。

②子どもを喜ばせる演出
『おもてなしをパフォーマンスに』

例えば子ども席セッティングの際に、動物や乗り物などナフキンの飾り折りをセットする。それだけでも子どもにとっては嬉しいものですが、さらなるレベルアップとしては、できあがったものをただセッティングするよりも、子どもが席に着いたタイミングで目の前で飾り折りのパフォ

ーマンスを行う、この方が

感動や喜びは何倍にもなります。そして子どもの記憶に残ります。

幼い頃、結婚式に参列した思い出は不思議と大人になっても残っているものです。そこで味わった感動や喜びは一生の思い出となり、結婚式への憧れとなるかもしれません。何かアクションを起こす

際には“見せ方”も大事なポイントになります。

他にもキッズコーナーのおもちゃの選定などいずれも、「子どもに喜んでもらおう!」「自分の子どもや孫が利用するとしたらどうしてあげたいか」という気持ちで準備することが大切です。心ある配慮のあるなしで、伝わるウェルカムの度合いは大きく変わります。

Q. 結婚式場にあったら嬉しいサービス



Weekly ゴーゴーリサーチ(特別編)「子連れでの結婚式参列に関するアンケート」(2014年7月)より